

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 1

魅力と個性あふれる都市をつくります

1 蒲田駅周辺のまちづくり

ランドデザインの重点としている「駅を中心とする地区整備」は、「蒲田駅周辺再編プロジェクト」に基づき、公共基盤を再整備するとともに、周辺街区の建物更新を促進しながら、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。

決算額	241,481,831 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第 13 回蒲田都市づくり推進会議を開催し、東西駅前広場の事業進捗状況について報告を行いました。 ○東西自由通路の検討を行うため、駅舎及び駅周辺において歩行者通行量調査を実施するとともに、交通量調査の結果及び分析内容を関係各所に報告しました。 ○西口駅前広場のサイン整備に向けて、蒲田駅西口駅前広場再生整備実施設計委託を実施しました。 ○蒲田駅西口駅前広場整備工事を実施しました。 ○早期事業着手に向け、蒲田駅東口駅前広場整備設計委託を実施しました。 	3
<p>【駅周辺街区のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田駅東西口周辺の地権者を対象にまちづくりに関する情報提供を行うため、駅前街区全体会を開催しました。 ○共同化建替えを検討する地権者組織の設立に向けて、蒲田 5-15 街区部会（4 回）、蒲田 5-16 街区部会（4 回）、蒲田 5-15・16・17 合同街区部会（5 回）を開催しました。 ○蒲田 5-19・20 街区について、再開発事業を前提とした準備組合が結成されました。 	3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部

2 大森駅周辺のまちづくり

ランドデザインの公共基盤整備の重点としている池上通りの拡幅と、駅西口駅前公共空間の確保に向け、周辺街区も含めた駅西側の整備構想を策定し、実現に向けた取り組みを進めます。あわせて、臨海部への玄関口としてのまちの活性化を図ります。

決 算 額	405,581,777 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【駅西側周辺のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大森八景坂地区まちづくり協議会推進委員会の開催（8回）を支援し、景観及びデザインコード（デザインのルールや指針）の検討及び視察等が行われました。 ○大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画等検討業務委託において、補助第 28 号線（池上通り）の事業化検討及び（仮称）大森駅西口広場の都市計画上での位置付けに関する検討を行い、その結果を基に、補助第 28 号線及び（仮称）大森駅西口広場の整備について、東京都都市整備局及び建設局との間で大枠の方向性を確認しました。 ○補助第 28 号線沿道まちづくり事業用地（山王二丁目 3 番 7 号、面積 246.7 m²）を取得しました。 	3
<p>【駅周辺の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大森駅東地区近代化協議会の勉強会の開催（8回）を支援し、協議会からの提案を踏まえ、自転車走行環境の整備及びコミュニティサイクルポートの設置を行いました。 	3
所管部	まちづくり推進部

3 身近な地域の魅力づくり

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、地元関係者の合意形成を図りながら駅前空間や住環境・商業環境を整備し、同時に公共自転車駐車場や帰宅困難者受入施設の整備を進めます。糀谷駅周辺では、子育て支援施設、高齢者支援施設、防災倉庫、公共自転車駐車場などの公益施設の整備を行い、災害に強い快適なまちづくりを進めます。

決 算 額	4,239,598,707 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【地域拠点駅周辺のまちづくり】</p> <p><大岡山駅周辺地区></p> <p>○区画街路第 1 号線について、未取得用地 3 画地の折衝を行いました。地権者 2 人のうち 1 人について、建物等の物件調査への同意が得られたことから、任意での契約に併せて境界確認を進めることとしました。</p> <p>○区画街路第 1 号線その 3 区間について、設計委託及び整備工事を実施しました。</p> <p><池上駅周辺地区></p> <p>○平成 27 年度に実施した池上駅周辺地区のまちづくりの課題整理及び現状分析について、その深度化を図るため交通量実態調査を実施し、歩行者、自動車等の現況を把握しました。</p> <p>○交通量実態調査の分析結果に基づき、駅前広場配置計画案や、接続する街路の交通処理方針など、池上駅周辺地区の都市基盤施設整備の基本構想案を検討しました。</p>	3

【京浜急行線連続立体交差事業に伴う京急蒲田駅西口、糀谷駅、雑色駅の周辺地区のまちづくり】

＜京急蒲田駅西口周辺地区＞

○市街地再開発事業の完了を受けて、市街地再開発組合の解散及び清算手続きを支援するとともに、次年度実施予定の再開発事業事後評価について関係機関との協議を行い、準備を進めました。

○まちづくり活動団体の会議等運営を支援するとともに、補助金を交付し、以下の団体活動を支援しました。

- ・京急蒲田西口地区まちづくり研究会の総会（1回）、役員会（6回）、視察会（1回）、地区計画に関する勉強会（1回）、センターエリア共同化検討委員会（8回）及び視察会の開催及びニュースの発行（4回）
- ・京急蒲田センターエリア協議会の総会（1回）、役員会（2回）の開催
- ・南第一地区、南第二地区、北第一地区、北第二地区の共同化検討協議会の活動
- ・その他、各団体の研究、情報共有、調整等の活動

＜糀谷駅周辺地区＞

○工事の進捗状況の確認と工事内容の詳細な点検を行いながら、補助金・負担金を交付し、工事完成に向けた支援を行った結果、施設建築物工事及び公共施設工事が完了しました。

＜雑色駅周辺地区＞

○まちづくり活動団体の会議等運営を支援するとともに、補助金を交付し、以下の団体活動を支援しました。

- ・雑色駅周辺まちづくり研究会の総会（1回）、運営委員会（8回）、視察会（1回）、デベロッパーとの意見交換会（2回）の開催

○総会においては、平成28年度の目標が「まちづくり案の作成」に決定されました。平成27年度に区へ提出されたガイドライン案に基づき、まちづくりの方向性がまとめられました。

○暫定駅前広場の今後の利用方法について、町会、商店街などの意見集約を行いました。

3

所管部

まちづくり推進部、都市基盤整備部

4 美しいまちなみづくり

各地域の特性に応じた自然や多様な歴史資源、生活文化を、まちづくりに活かすため、平成 25 年 10 月に策定した「大田区景観計画」に基づき、個性と魅力あふれる良好な景観形成を誘導します。

決 算 額	8,414,539 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【景観計画の推進】</p> <p>○大田区景観条例に基づく行為の事前協議が、171 件提出されました。景観法に基づく行為の届出は 138 件、行為の通知は 23 件、行為の変更届出は 39 件、行為の完了報告は 52 件ありました。事前協議、行為の届出等の際し、景観計画に定める景観形成基準に基づく誘導を図りました。</p> <p>○特定大規模建築物 18 件、公共建築物等 12 件、届出対象外相談 4 件を大田区景観アドバイザー会議に諮り、技術的助言等を得ました。</p> <p>○第 1 回大田区景観まちづくり賞表彰式（応募数 90 件のうち、街並み景観部門 5 件、景観まちづくり活動部門 2 件が受賞）及び景観シンポジウムを開催しました。</p> <p>○景観まちづくり賞の受賞物件のパネル展を開催しました。</p> <p>○大田区景観審議会を開催（2 回）しました。「大田区景観計画に基づく景観資源【文化財等】の追加指定」「（仮称）洗足池景観形成重点地区の追加指定等に伴う大田区景観計画の変更（素案）」「第 2 回大田区景観まちづくり賞（案）」を諮問し、「諮問のとおり定めることが適当である。」との答申を受けました。</p>	3
所管部	まちづくり推進部

5 区民との連携・協働の推進

良好な生活環境の向上を図るために行う建築計画等に関する開発調整や、地域のまちづくりに関する課題解決に向けた自主活動への支援を行います。

決 算 額	6,794,564 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【建築計画等に関する開発調整】</p> <p>○地域力を活かした大田区まちづくり条例第 22 条に基づく開発事業者との協議が成立し、協定を締結した件数は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地開発事業：8 件 ・集団住宅建設事業：96 件 ・一定規模建設事業：21 件 ・合計：125 件 	3
<p>【地域まちづくり支援事業】</p> <p>○地区まちづくり協議会（7 団体）にまちづくり活動助成金を交付し、自主的なまちづくり活動を支援しました。</p>	3
所管部	まちづくり推進部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 2	快適な交通ネットワークをつくります

1 新空港線の整備推進

国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の早期事業着手に向けた取り組みを推進します。

決 算 額	1,017,495,438 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【関係者との協議及び事業推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新空港線の整備実現に向けて、関係者（国、東京都及び鉄道事業者）と事業計画、事業費、事業採算性等に関する話し合い（担当者会 23 回、課長会 2 回、部長会 3 回）を実施し、合意形成に向けた課題の整理が図られました。 ○関係者間で整理した諸課題の内容を反映し、需要予測・収支採算性等の調査・検証を行いました。 ○鉄道事業者と、整備主体設立に向けた勉強会を 5 回実施しました。 ○第三セクター設立に向けた検討・準備を行いました。 	3
所管部	まちづくり推進部

2 都市計画道路の整備

主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。平成 28 年度から 37 年度までの概ね 10 か年で整備する路線を示した「東京における都市計画道路の整備方針」を、東京都及び関係区市町で連携・協働して策定します。

決 算 額	761,552,808 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【区画街路第 1 号線（大岡山付近）/用地取得・整備】 ○区画街路第 1 号線について、未取得用地 3 画地の折衝を行いました。地権者 2 人のうち 1 人について、建物等の物件調査への同意が得られたことから、任意での契約に併せて境界確認を進めることとしました。 ○区画街路第 1 号線その 3 区間について、設計委託及び整備工事を実施しました。	3
【補助第 44 号線その 2（上池台付近）/用地取得・整備・測量】 ○用地未取得であった 1 画地を取得し、用地取得率が 100%に達しました。 ○補助線街路第 44 号線整備工事設計委託（電線共同溝詳細及び道路修正）を実施しました。	3
【補助第 43 号線（仲池上付近）/用地取得・整備・測量】 ○用地未取得の 17 画地中、4 画地を取得しました。	3
【補助第 38 号線（羽田旭町付近）/用地取得・整備・測量】 ○用地未取得の 6 画地中、1 画地を取得しました。 ○補助線街路第 38 号線整備工事設計委託を実施しました。	3
所管部	都市基盤整備部

※【区画街路第 1 号線（大岡山付近）/用地取得・整備】については、「身近な地域の魅力づくり」の取組事項「地域拠点駅周辺のまちづくり」と同様の内容となります。決算額の重複を避けるため、当該経費は「身近な地域の魅力づくり」にのみ計上しています。

3 自転車等利用総合対策の推進

「大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。区民や鉄道事業者など関係機関との連携を強化し、駅周辺の放置自転車を含め自転車等利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を図ります。

決 算 額	1,184,786,364 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【自転車等駐車場の整備】</p> <p>○京急線高架下自転車駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森町駅（有料制 駐車台数 323 台）、京急蒲田駅本線高架下（有料制 駐車台数 710 台）及び京急蒲田駅空港線高架下（有料制 駐車台数 1,040 台）、糀谷駅（有料制 駐車台数 844 台）自転車駐車場の整備が完了し、供用を開始しました。 ・梅屋敷駅、雑色駅高架下自転車駐車場の整備が完了しました（平成 29 年 6 月供用開始）。 <p>○糀谷駅前地下自転車駐車場の整備が完了しました（平成 29 年 4 月供用開始）。</p> <p>○蒲田駅西口呑川横及び蓮沼自転車駐車場を機械化しました（平成 29 年 4 月有料制として供用開始）。</p> <p>○洗足池駅前の歩道橋撤去に伴い、歩道橋下の自転車駐車場を廃止し、洗足池公園前に電磁ロック式ラックを 96 台整備しました（平成 29 年 4 月有料制として供用開始）。</p> <p>○新設又は機械化・有料化した自転車駐車場について、使用料の支払いに電子マネーを導入しました。</p>	3
<p>【自転車走行環境の整備】</p> <p>○自転車ナビマーク・ナビラインを以下のとおり整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森地区 約 1,800m ・調布地区 約 1,950m ・蒲田地区 約 1,800m ・糀谷・羽田地区 約 1,490m <p>○平成 27 年度に実施した自転車走行環境整備の効果検証を行いました。</p> <p>○大田区コミュニティサイクル事業の試行を開始しました。</p> <p>○自転車推奨ルートにおける大田区道の現地調査及び図面作成を行い、走行環境の整備方針を検討しました。</p>	3
<p>【ルール・マナーの教育・啓発】</p> <p>○自転車等駐車対策協議会を 2 回開催しました。協議会で「(仮称)自転車安全利用条例案」について協議し、関係機関から意見・提案等について聴取を行いました。</p> <p>○JR 蒲田駅東西口の自転車押し歩き推進エリア内において、推進員による啓発活動を実施しました。また、新たに推進ゾーンとした糀谷商店街及び萩中通り商店街において、街頭啓発を実施（6 回）しました。</p> <p>○区報に交通ルール・マナー啓発情報を掲載（3 回）しました。中でも 11 月 21 日号では、自転車の安全利用について第 1 面に記事を掲載し、アピールの強化を図りました。</p> <p>○たまりバー交通安全啓発運動を実施し、多摩川河川敷道路の利用者約 800 人に向けて、自転車の安全利用を呼びかけました。</p> <p>○大田区クリーンキャンペーンを実施（2 回、春：5 月 18～27 日・参加者延べ 317 人、秋：10 月 22 日～11 月 30 日・参加者延べ 741 人）し、放置自転車の防止及び喫煙マナーの向上を呼びかけました。</p>	3
所管部	都市基盤整備部

4 京浜急行線沿線アクセス道路・京急蒲田駅東口駅前広場等の整備

京浜急行線の連続立体交差事業を契機として、アクセス道路や駅前広場などの整備を進めます。まちづくり事業や幹線道路整備との調整を図りながら、京浜急行線沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。

決 算 額	394,683,108 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【アクセス道路・京急蒲田駅東口駅前広場等の整備】 ○本線附属街路第 4 号線、大田区画街路第 3 号線の整備が完了し、周辺地区の利便性が向上しました。 ○本線附属街路第 2 号線の整備を進めるとともに、未取得用地について、東京都の主動により関係人との折衝を行いました。	3
所管部	都市基盤整備部

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 3

潤いとやすらぎのあるまちをつくります

1 拠点公園・緑地の整備

区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、みどりの拠点を形成するため「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や羽田空港跡地などの臨海部や内陸部での新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決 算 額	463,947,269 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【田園調布せせらぎ公園】 ○地権者との折衝を行い、公園用地の売買に係る覚書を締結しました。	3
【佐伯山緑地】 ○用地取得 大田区土地開発公社が代行取得したⅡ期地（約 3,475 ㎡）について、平成 28 年度分の買戻し（1,158.34 ㎡）を行いました。 ○整備 佐伯山緑地造成工事（擁壁）を実施しました。	3
【洗足池公園】 ○用地取得 公園に隣接する事業用地（面積 266.73 ㎡）を、大田区土地開発公社が代行取得しました。 ○整備 ・洗足池公園改良工事（東部）を実施しました。 ・洗足池公園改良工事（東部）設計委託及び（仮称）勝海舟記念館周辺道路整備設計委託を完了しました。	3
【多摩川台公園】 ○整備 ・多摩川台公園改良工事（バリアフリー・トイレ改修）を完了しました。 ・多摩川台公園改良工事（増設）を実施しました。 ・多摩川台公園改良工事（バリアフリー改修）設計委託及び虹橋改修工事設計委託を完了しました。	3
【羽田空港跡地の広場緑地整備】 ○都市計画変更・事業認可 ・第 2 ゾーン緑地の都市計画変更を行いました。 ・事業着手に向けて、庁内調整を行いました。	3
所管部	都市基盤整備部

2 地域に根ざした公園・緑地の整備

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。

決 算 額	570,137,075 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【公園の新設・拡張整備】 ○水神公園休憩所新築その他工事実施設計委託を完了しました。 ○（仮称）西蒲田四丁目第二児童公園工事設計委託を完了しました。	3
【大規模公園の移動円滑化整備】 ○多摩川台公園改良工事（バリアフリー・トイレ改修）を完了しました。 ○多摩川台公園改良工事（バリアフリー改修）設計委託を完了しました。	3
【公園リニューアル・長寿命化対策の推進】 ○仲蒲田公園改良工事を完了しました。 ○新井宿児童公園改良工事を完了しました。 ○池上梅園管理棟ほか1棟改築その他工事を完了しました。 ○東糀谷第一公園改良工事は、土壌汚染が発見されたため、執行を中止しました。	2
【大森南園場の再整備】 ○公園整備のあり方や具体的な事業化に向けて公園実態調査を実施し、引き続き検討しました。	3
【遊具の安心・安全対策の推進】 ○遊具点検 公園遊具劣化・規準点検を実施（458公園1,828基）し、安全性を確認しました。 ○遊具整備 ・こども家庭部と連携し、1～3歳児が安心して遊べる場を提供する「子育て支援遊び場整備事業」を、2公園（中馬込児童公園、蒲田一丁目公園）で実施しました。 ・区内企業との連携により、大田区公式キャラクター「はねぴょん」の幼児用遊具を製作し、6公園（中馬込児童公園、スクランブルパーク児童公園、西蒲田公園、西糀谷さざんか公園、本羽田第三公園、森ヶ崎交通公園）に設置しました。	3
【健康遊具の整備】 ○庁内調整・事業化検討 公園等を活用した区民の健康づくり推進に向けて、東京工科大学及び福祉部と連携し、事業化に向けた調査検討を行いました。 ○整備 新井宿児童公園に健康運動遊具を設置（4基）しました。	3
【樹木の保全更新】 ○サクラの保全・更新のため、洗足池公園及び多摩川台公園において、樹木の伐採・植付けを行いました（洗足池公園 2本更新、多摩川台公園 5本更新）。	3
所管部	都市基盤整備部

3 多摩川ふれあいの場の整備

多摩川で活動する区立小学校やNPO法人などと連携しながら、「水辺の楽校」による自然体験や環境学習をはじめ、区民が多摩川に親しみながら相互交流を図れるような事業を支援します。

決 算 額	0 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【「水辺の楽校」活動の支援】 ○国土交通省が整備した「うのき水辺の楽校親水型護岸」について、区が管理する多摩川田園調布南・鶯の木緑地と一体的に管理できるよう、国土交通省と連携し、安全対策等に取り組みました。	3
【ふれあい拠点の整備】 ○区内 2 つの水辺の楽校（うのき・羽田）が、環境教育やスポーツ活動を実施するための施設整備を行えるよう、国との手続きに必要な連絡・調整を行い、支援しました。	3
所管部	都市基盤整備部

4 呑川緑道の整備（風の道のまちづくり）

呑川は水と緑の環境軸として、川沿いの道路や護岸の緑化、景観と環境に配慮した舗装などの散策路整備を進めます。呑川の歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を引き続き進めます。

決 算 額	21,481,200 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【緑道整備】 ○整備工事（東雪谷五丁目、延長 70m）を実施しました。	3
【サイン整備】 ○サイン整備実施設計委託及び整備着手に向けた調整等を実施しました。	3
所管部	都市基盤整備部

5 桜のプロムナードの整備

水と緑のネットワークの充実を図るため、かつての内川の流れや洗足流れ、馬込桜並木に至る散策路整備を進めます。散策路沿いの歴史や自然環境など地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を進めます。

決 算 額	30,382,560 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【散策路整備】 ○整備工事（南馬込四丁目、延長 70m）を実施しました。	3
所管部	都市基盤整備部

6 地域力を活かしたみんなのみどりづくり

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

決 算 額	13,323,753 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【ふれあいパーク活動の推進】</p> <p>○参入団体の増加に向け、次のとおり広報活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区設掲示板に統合ポスターを掲示(321 か所、14 日間) ・区報に事業紹介及び参加団体募集の記事を掲載（2 回） ・「ふれあいパークニュース」の作成及び配布(56 か所、2,800 部) ・デジタルサイネージによる活動紹介及び参加団体募集 <p>○区内事業者の参加を促すための検討を実施しました。</p> <p>○東京みどりの研究会に活動報告を実施しました。</p>	3
<p>【おおた花街道の推進】</p> <p>○8 地区（田園調布二丁目地区、鶉の木二・三丁目地区、大岡山駅前広場、久が原地区、山王二丁目地区、池上六・七丁目地区、東矢口一・二丁目地区、田園調布五丁目地区）における活動を支援しました（参加者延べ人数 1,151 人）。</p> <p>○現状把握や課題の整理を行い、今後の仕組みづくり（要綱の制定等）について検討を行いました。</p>	3
<p>【公園施設利活用の推進】</p> <p>○平和の森公園展示室利用者数のさらなる増加をめざし、運營業務を委託している地域住民主体の NPO と連携・協力を図りました。その結果、平和の森公園展示室の来館者数は 8,587 人（平成 27 年度 7,636 人 から 951 人・12.5%増）でした。</p> <p>○区指定講座として、ブルートライアングルプロジェクトと連携した講座を開催しました（参加者 親子 12 組 32 人）。</p>	3
所管部	都市基盤整備部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 1	水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
施策 4	安全で安心して暮らせるまちをつくります

1 木造密集市街地の整備促進

不燃化建替え助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化・耐震化を促進します。

決 算 額	114,368,674 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【住宅市街地総合整備事業】</p> <p>○幅員 6 m への拡幅を位置づけた重点整備路線の沿道地権者に対し、平成 25 年度から継続して行っているヒアリングの結果、15 件の敷地において、用地買収に関する具体的な折衝に進展しました。このうち 10 件で買収に向けた測量等の調査を完了し、うち 1 件は土地売買契約を締結しました。</p> <p>○羽田地区の地区計画導入に向けて、まちづくりルールに関する区の検討状況説明会を開催（7 回）しました。また、区の検討状況に関するアンケート調査を実施し、いただいたご意見を基に、まちづくりルールの素案を作成しました。</p>	3
<p>【都市防災不燃化促進事業】</p> <p>○窓口等で事業の周知に努め、「大森中・糎谷・蒲田地区防災街区整備地区計画」の区域内における地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。</p> <p>○平成 28 年度の助成実績は、交付件数 12 件、交付額約 4,047 万円でした。</p> <p>○今後、都市防災不燃化促進事業の導入を進めていく羽田地区において、導入要件となる不燃化促進調査を実施しました。</p>	3
<p>【不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業】</p> <p>○助成実績は、戸建て・共同建替えが 13 件（約 1,590 万円）、老朽建築物除却が 13 件（約 1,223 万円）、壁面後退奨励金が 3 件（120 万円）でした。</p> <p>○不燃化特区指定を受けた羽田地区において、平成 27 年度に引き続き、約 800 件の戸別訪問調査を行い、事業周知や建替え意向の確認、助成制度の利用拡大に努めました。</p>	3
所管部	まちづくり推進部

2 建築物の耐震改修促進

耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

決 算 額	176,294,111 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【住宅・マンションなどの耐震化促進】 ○平成 28 年度の耐震化助成実績は、診断 191 件、設計 69 件、工事（不燃化建替え含む）97 件、アドバイザー派遣 2 件でした。分譲マンション耐震化アドバイザー制度は、現地調査を行った上で、個々のマンションの実態に即したアドバイスを行う制度に拡充しました。 ○木造住宅の対象全戸を対象に、3 か年計画で助成制度を個別に周知する取り組みを開始しました。平成 28 年度は約 13,000 戸に個別周知を行い、うち 71 件の希望者に個別訪問を行った結果、新たに 31 件の耐震診断助成の申請がありました。	3
【沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化促進】 ○平成 28 年度の耐震化助成実績は、診断 3 件、設計 2 件、工事 1 件でした。 ○耐震化促進を図るため、平成 27 年度から継続して、職員による戸別訪問を約 400 件行い、制度の紹介や利用促進を図りました。	3
所管部	まちづくり推進部

3 橋梁の耐震性の向上

区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線や鉄道を跨ぐ橋梁など、防災上重要な優先対策橋梁 73 橋のうち、未整備の橋の架替え・耐震補強整備を計画的に進めます（33 橋の架替え整備・耐震補強整備に着手）。

決 算 額	474,499,759 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【架替え整備】 ○諏訪橋架け替えに係る河川計画協議の変更申請を完了しました。 ○諏訪橋の詳細設計に着手しました。 ○内川の河川不等流解析を実施し、橋台及び仮設構造物に関する検討を行いました。	3
【耐震補強整備】 ○呑川・海老取川に架かる橋梁 <ul style="list-style-type: none"> ・本村橋の耐震補強工事が完了しました。 ・芹ヶ谷橋、根方橋及び天空橋の耐震補強工事設計委託を行いました。 ○跨線橋（鉄道を跨ぐ橋梁） <ul style="list-style-type: none"> ・山王道跨線人道橋及び北千束歩道橋の耐震補強工事が完了しました。 ・西三跨線人道橋及び道々女木橋の耐震補強工事に着手しました。 ・補強補修設計 5 橋（蟹久保橋、嶺橋、老松橋、入船橋、御嶽橋）の設計を完了しました。 	3
所管部	都市基盤整備部

4 下水道の整備

東京都と連携しながら、下水道管の耐震性の強化や、雨水管整備による排水能力の向上など、区民の安全と快適な暮らしを支える下水道の整備を進めます。

決 算 額	469,964,968 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【雨水管などの整備】 ○雨水管（枝線）改良工事や雨水浸透施設の受託について、東京都下水道局と協議しました。 ○上池台地区における雨水浸透ますの設置について、調査・設計を実施しました。	3
【下水道管の耐震化】 ○区内残留地区（蒲田・平和島・京浜島地区）の一部及び災害復旧拠点等（28 施設）の下水道管路耐震化工事（4 件）が完了しました。	3
所管部	都市基盤整備部

5 総合治水対策

頻発する集中豪雨や台風などの大雨から区民の安全を守り、安心できる生活を支えるために、道路・公園・建物などからの雨水の流出を抑制し、下水道や河川に流入する雨水の量を軽減する総合的な治水対策に取り組みます。

決 算 額	76,087,324 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【浸水被害地区浸水対策の東京都との連携】 ○区内の浸水対策の早期実現に向け、東京都下水道局と連携しながら、具体的各対策について調整を行いました。 ○上池台地区の浸水対策におけるバイパス管きょ整備工事に向けて、関係者と協議を行い、東京都下水道局が工事に着手しました。	3
【透水性舗装】 ○雑色駅暫定広場整備工事において、透水性舗装（1,297 m ² ）を実施しました。 ○桜のプロムナードの整備（南馬込四丁目 7 番から 8 番先まで）において、99 m ² を透水性舗装に改修しました。	3
【道路、公園などの浸透ますの設置】 ○上池台地区における雨水浸透ますの設置計画を検討し、10 か所（東雪谷一丁目 33 番から四丁目 3 番先）で設置工事を実施しました。	3
【開発事業者に対するの雨水流出抑制の指導】 ○例年どおり区報掲載による制度周知を行ったほか、おおた住まいづくりフェアへの出展や窓口におけるパンフレット配布、デジタルサイネージでの放映など、積極的な周知・広報活動を行った結果、雨水貯留槽等設置の助成実績は 199 基（173 件）でした。	3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部

6 災害時水上輸送ネットワークの向上

災害時における水上輸送ネットワークを構築するため、河川や運河を利用した緊急時の輸送ルート確保や船着場の整備・改築を行うとともに、関係団体などとの連携体制を強化します。

決 算 額	104,245,920 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【防災船着場の整備・改築】 ○大森ふるさとの浜辺公園に、平常時の観光振興にも活用できる船着場（浮棧橋形式）を整備しました。	3
【関係団体などとの連携】 ○区の水上市輸送計画の補完的な船着場として、京浜島の棧橋保有事業者 1 社と、災害時における船着場の提供について調整を進めました。	3
所管部	総務部、都市基盤整備部

7 移動を円滑にするユニバーサルデザインの推進

「ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」及び「移動等円滑化推進方針」に基づき、多くの人が集まる拠点や公共施設、民間施設のユニバーサルデザイン環境を充実させます。

決 算 額	19,032,020 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【かまた街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】 ○蒲田駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。 ○事業者部会として、施設点検を実施（7事業者が参加）しました。 ○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（3回、参加者延べ102人）しました。 ○区民等を対象とした区民部会を開催（2回）し、まちあるき点検を実施（参加者延べ30人）しました。	3
【おおもり街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】 ○大森駅周辺地区で特定事業を実施する事業者を対象に、事業の進捗管理を実施しました。 ○事業者部会として施設点検を実施（7事業者が参加）しました。 ○大田区移動等円滑化推進協議会を開催（3回、参加者延べ102人）しました。 ○区民等を対象とした区民部会を開催（2回）し、まちあるき点検を実施（参加者延べ30人）しました。	3
【主要拠点及び生活関連施設などの点検及び整備】 ○京急蒲田駅西口・東口周辺において、整備工事実施後の点検を実施（参加者27人（区職員を含む。））しました。 ○桜のプロムナード整備箇所（南馬込五丁目）において、整備前点検を実施（参加者19人（区職員を含む。））しました。	3
【区有施設のユニバーサルデザインの点検及び整備】 ○千鳥いこい公園において、整備前点検を実施（参加者25人（区職員含む。））しました。	3
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部

※【かまた街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】と【おおもり街なか”すいすい”プラン（移動等円滑化推進計画）の実施】については、一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）は同様の記載となります。

8 都市基盤施設の維持更新

道路・橋梁などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCA サイクルに基づく計画的な維持管理を行い、施設の安全性を確保します。

決 算 額	429,315,921 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【橋梁長寿命化修繕計画の推進 ー橋梁の補修ー】</p> <p>○補修設計 2 橋（呑川橋、新橋）が完了しました。</p> <p>○補修工事 4 橋（谷中橋、八幡橋、久崎橋、柳橋）が竣工しました。</p> <p>○平和島陸橋（北側）については、補修設計に着手しました。予定していた補修工事については、主要部材に想定以上の損傷が確認されたため、この部位の補修検討を行うこととし、次年度以降に実施することとしました。</p>	2
<p>【道路の維持・更新計画の推進 ー道路の維持・更新ー】</p> <p>○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。</p> <p>[大森管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南馬込五丁目 6 番～4 番先（舗装面積 1,006 m²） ・南馬込二丁目 6 番～2 番先（舗装面積 772 m²） ・中央五丁目 20 番～21 番先（舗装面積 605 m²） <p>[調布管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南千束三丁目 6 番～7 番先（舗装面積 554 m²） ・東雪谷四丁目 9 番～14 番先（舗装面積 463 m²） ・鶉の木二丁目 45 番～46 番先（舗装面積 354 m²） ・南雪谷二丁目 11 番～10 番先（舗装面積 482 m²） <p>[蒲田管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川二丁目 29 番～16 番先（舗装面積 2,131 m²） ・南六郷一丁目 31 番～33 番先（舗装面積 825 m²） <p>[糞谷・羽田管内]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東糞谷五丁目 18 番～15 番先（舗装面積 868 m²） ・本羽田二丁目 7 番～8 番先（舗装面積 1,002 m²） <p>○路面下空洞調査委託（延長 130.84km）を実施しました。</p>	3
所管部	都市基盤整備部

9 生活安全の確保

区道に設置されている街路灯を、環境面とライフサイクルコストに優れた LED 街路灯として整備することで、歩行者や自転車の夜間における視認性を高め、区道における安全を確保します。私道における防犯灯設置助成を自治会・町会などに行うとともに、区民と連携したパトロールを行い、地域の生活安全を確保します。

決 算 額	635,113,621 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【LED 街路灯整備の推進】</p> <p>○以下のとおり、小型街路灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森地区 1,821 灯 ・調布地区 1,786 灯 ・蒲田地区 605 灯 ・糀谷・羽田地区 587 灯 <p>○以下のとおり、大型街路灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島部地区（平和島全域 148 灯、昭和島二丁目 18 灯） 166 灯 ・山王一丁目 45 番先～山王二丁目 5 番先 32 灯 ・大森北一丁目 1 番先～27 番先 13 灯 ・大森北五丁目 10 番先～大森北二丁目 1 番先 31 灯 ・大森北一丁目 32 番先～大森北三丁目 43 番先 24 灯 ・下丸子四丁目 20 番先～下丸子二丁目 36 番先 30 灯 ・東矢口一丁目 1 番先～多摩川二丁目 24 番先 20 灯 ・蒲田五丁目 50 番先～蒲田三丁目 18 番先 22 灯 ・蒲田四丁目 18 番先～21 番先、蒲田四丁目 23 番先～29 番先 16 灯 <p>○以下のとおり公園灯（LED）改良工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森地区（大森山谷公園ほか 58 か所） 214 灯 ・調布地区（上池台四丁目公園ほか 47 か所） 142 灯 ・蒲田地区（本蒲田公園ほか 40 か所） 141 灯 ・糀谷・羽田地区（大森南一丁目公園ほか 46 か所） 138 灯 	3
<p>【防犯灯設置助成】</p> <p>○地域力推進地区委員会における自治会・町会への事業説明等、事業周知に努めた結果、当初想定 73 基に対し、122 基（43 件）の助成実績につながりました。</p>	4
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部

10 交通安全の推進

JR 京浜東北線・東海道線を横断している学校踏切などにおいて、電車との接触事故の危険性を無くすため、安心して、安全に横断できる施設の整備を進めます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、交通安全意識の普及と浸透を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより交通事故防止を図ります。

決算額	34,043,426 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【踏切における安全対策の推進】</p> <p>○学校踏切については、昨年度実施したアンケート調査結果等を踏まえ、当面の安全対策として自転車の迂回啓発等を進めることとして、入新井・新井宿両地区と JR 東日本株式会社に説明し、概ね了承を得ました。</p>	3
<p>【交通安全教育の推進】</p> <p>○交通安全移動教室を開催（91 回、参加者延べ 5,428 人）しました。</p> <p>○交通公園を利用した自転車教室を開催（3 回、参加者延べ 475 人）しました。</p> <p>○高齢者に対し交通安全集会を開催（30 回、参加者延べ 1,066 人）しました。</p> <p>○スケアード・ストレイト*方式による交通安全教育を実施（11 回）しました。</p> <p>○交通安全だよりを幼稚園・保育園児向けに年 3 回、小学校低学年向けに年 3 回、高学年向けに年 2 回発行しました。</p> <p>○上記の取り組みのほか、区内各警察署と協力して交通安全啓発活動を実施した結果、平成 28 年中の大田区内における交通事故件数は前年に比べて 191 件減少し、1,279 件となりました。</p>	3
所管部	都市基盤整備部

※スケアード・ストレイトとは、「恐怖を直視する」という意味で、自転車の重大事故を防止するためスタントマンが自転車事故を再現することで、自転車のルール違反がなぜ危険なのか参観者に視覚的に理解してもらうことです。

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 1

世界へ羽ばたくまちをつくります

1 世界と交流しにぎわう産業支援・文化交流施設の整備

産業支援機能や国内外の人々が交流できる機能とともに、羽田の歴史を後世に伝えるコーナーを備えた施設の整備を進めます。自然エネルギーの活用など環境に配慮したまちづくりを検討します。

2 水と緑のふれあいゾーンの整備

多目的広場の整備を推進し、潤いとやすらぎの親水緑地空間を創出します。あわせて、地域の防災機能の強化に資する空間としての整備を進めます。

3 空港跡地の交通結節点機能の充実

交通結節点機能を強化するため、天空橋駅前広場や跡地第1ゾーン内の道路などの整備を進めます。

決 算 額	59,179,058 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【産業支援・文化交流施設の整備推進】【多目的広場などの整備推進】 【駅前広場及び道路などの整備推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備に係る事業者向けに説明会を開催（100社・188人参加）しました。 ○事業者ヒアリングを実施し、第一期事業の募集要項を公表しました。 ○産業支援機能の具体化に向けて、区内企業を対象に提案型人材育成プログラムを開催（座学5回、実地講座2回）し、企業・人材のネットワークづくりに取り組みました。 ○大阪国際空港就航都市事務担当者会議において、クールジャパンをはじめ、羽田空港跡地第1ゾーンの取り組みについて講演を行い、ネットワークの拡充と、多くの自治体に対する空港跡地の周知を行いました。 ○クールジャパンに関係する団体等と連携し、国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田において、クールジャパンエリアとして情報発信等を実施しました。 ○土地区画整理事業の事業認可に向けた手続きを進め、東京都市計画土地区画整理事業羽田空港跡地地区土地区画整理事業の施行規程及び事業計画について、独立行政法人都市再生機構が国土交通省から事業認可を取得しました。 	3
所管部	産業経済部、空港まちづくり本部

※「世界と交流しにぎわう産業支援・文化交流施設の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」「空港跡地の交通結節点機能の充実」は一体的な取り組みであるため、主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）及び決算額についても一体としています。

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2

未来につながる空港臨海部をつくります

1 空港臨海部土地利用(活用)の誘導

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用(活用)の誘導などについて、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、具体化します。

決算額	19,288,800 円
主要施策の成果(平成 28 年度の取り組み内容)	進捗状況
<p>【重点プロジェクトの検討・推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各島連絡協議会を 4 回(城南島 2 回、昭和島 2 回)、3 島全体連絡協議会を 1 回開催しました。各島の協議会では、各島の課題に対する今年度の取り組みや進捗状況等を確認し、全体協議会において各島の取り組みを共有しました。 ○島部ビジョン策定に向けて、京浜島においてビジョン策定検討会を開催(4 回)しました。検討会では将来像の共有や、短期・中長期別のアクションプランについて、協議・検討を行いました。 ○にぎわい創出として、京浜島内の事業者向け工場見学会(京浜島オープンファクトリー)を実施(2 回、春: 3 日間・6 社、秋: 3 日間・3 社、参加者延べ 69 人)しました。 ○羽田旭町周辺地区について、民間事業者の開発計画に伴い、区有地の活用方針を定めました。また、開発計画に関して事業者との協議を行うとともに、羽田・糀谷両地区と事業者との協議について、地元支援を行いました。 ○流通センター駅周辺地区について、民間事業者の開発計画に伴い、地域貢献整備に関するスケジュールや仕様の協議・調整を行い、開発事業者と散策路の整備に関する個別協定を締結しました。 ○大森ふるさとの浜辺公園周辺地区について、整備が完了したレストハウスや水辺スポーツ・レクリエーション施設、防災船着場等を活用し、にぎわいや舟運事業の拠点形成を図るため、関連部署と協議・検討を行いました。 	3
所管部	まちづくり推進部

※「空港臨海部土地利用(活用)の検討」と「空港臨海部交通ネットワークの拡充」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています(重複を避けるため「空港臨海部土地利用(活用)の検討」のみに計上)。

2 中央防波堤埋立地の将来構想の検討

帰属問題について区民、区議会とも一体となって早期解決を図り、空港臨海部において、中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かした将来の構想を国、都等関係機関とも協議しながら検討します。

決 算 額	0 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【関係機関との連携】</p> <p>○最高裁判所の判例で示された境界決定基準において、「当該係争地域の歴史的沿革」が最重要視されていることを踏まえ、東京港における大田区民による海苔養殖の歴史に関する調査を深度化し、大田区的确固たる論拠として確立しました。</p> <p>○昭和 48 年に中央防波堤埋立地の埋立てが開始されて以降、43 年目にして初めて、大田区と江東区による正式協議の実施（7 回）を実現させました。正式協議においては、最高裁判所が示した境界決定基準に基づき、大田区の正当な論拠を、毅然とした強い姿勢で主張しました。</p>	3
<p>【当区の主張の確立強化とアピール】</p> <p>○区報（6 月 1 日号）の第 1 面に、「中央防波堤埋立地の大田区帰属で拓く空港臨海部の輝く未来」のスローガンを掲げ、中央防波堤埋立地帰属問題に関する特集を掲載し、大田区の正当な論拠を広く区民へ発信しました。</p> <p>○区報や議会答弁等を通じ、大田区の主張を戦略的かつ積極的に発信することにより、マスコミの注目を広く集めました。マスコミ対応を効果的に行ったことにより、区民の帰属問題に対する関心が更に高まり、より身近な問題として捉えていただくことができました。</p>	3
<p>【将来構想の調査研究】</p> <p>○「おおた都市づくりビジョン（平成 29 年 3 月策定）」の重点プロジェクトに「中央防波堤埋立地の将来的な利活用」を設定し、羽田空港と東京港を擁する空港臨海部の特性を踏まえた取り組みの方向性を示しました。</p>	3
所管部	企画経営部

3 空港臨海部交通ネットワークの拡充

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。国道 357 号の多摩川以南の整備促進を働きかけることにより、空港アクセス及び都市間交通を円滑化します。

決 算 額	0 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】 ○舟運の社会実験として、羽田空港天空橋船着場を発着し、区内臨海部や海の森水上競技場付近を巡るコースを設定し、試行運航を実施（春 2 回、秋 1 回、乗船者数延べ 114 人）しました。 ○東京都主催の水辺空間活用（舟運）ワーキングに出席（準備会を含め 4 回）し、取組施策の検討や、他区・関連事業者との情報交換、社会実験の接岸協力等を行いました。 ○国土交通省主催の「舟運の実現を目指した社会実験」の準備会に出席（2 回）しました。	3
【公共交通、舟運及び新たな交通システムの検討、整備】 ○内陸部から臨海部へのアクセスを改善するため、大森駅から京浜島間のバスの公共交通優先システム導入、新交通システムの導入効果・課題等について検討を行いました。 ○主要交差点における慢性的な交通渋滞対策について、京浜大橋北交差点の改良案として、車線構成の改良や流入部の北側移設を検討し、整備事業の主体である川崎国道事務所への情報提供及び意見交換を実施しました。	3
所管部	まちづくり推進部

※「空港臨海部土地利用(活用)の検討」と「空港臨海部交通ネットワークの拡充」は、一部一体的に取り組んだため、決算額は統合しています(重複を避けるため「空港臨海部土地利用(活用)の検討」のみに計上)。

4 海上公園の移管整備

東京都港湾局から移管予定の海上公園について、空港臨海部の特色を踏まえた活用を検討し、区立公園として再整備を進めます。

決 算 額	28,398,600 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【港湾局移管公園の活用検討】 ○4 か所目の移管対象となる都立京浜島ふ頭公園について、移管に向けた検討を実施しました。	3
【移管公園の再整備】 ○(仮称) 昭和島二丁目公園について、平成 28 年度から 31 年度末までの予定で都市計画事業の認可を取得し、整備工事(基盤造成)及び基本設計委託を実施しました。	3
所管部	都市基盤整備部

5 新スポーツ健康ゾーンの整備

大田区の特徴である水辺を活かし、年代や性別を超えて誰でもスポーツを楽しめる水辺のレクリエーション拠点を「大森ふるさとの浜辺公園」を中心に整備します。空港臨海部に点在する公園との連携も視野に入れた事業展開をめざします。

決 算 額	573,324,890 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【調査検討・関係機関との協議】 ○大森ふるさとの浜辺公園について、東京都港湾局や海上保安部等の関係機関と緊密に協議を行い、また、地元町会や商店会、各種スポーツ団体等で構成される「ふるさとの浜辺公園を育てる会」とも意見交換を実施して、大森西・大森東地区地域力推進会議等で、今後の工事に関する地域との合意形成を図りました。 ○（仮称）昭和島二丁目公園について、隣接する羽田鉄鋼団地や大森東地区自治会連合会等と意見交換を実施し、整備内容や管理運営方法について合意形成を図りました。 ○森ヶ崎公園について、大田区サッカー協会や大森東地区自治会連合会等と適宜意見交換を実施し、新たに整備するサッカー場の規模等、整備内容が概ね確定しました。	3
【レクリエーション施設の整備】 ○大森ふるさとの浜辺公園では、休憩所及び倉庫新築その他工事、デッキ等工事、防災船着場設置工事が完了しました。 ○大森東水辺スポーツ広場整備工事が完了し、ビーチバレー始球式等を行いました。 ○（仮称）昭和島二丁目公園整備工事（基盤造成）及び基本設計委託を実施しました。 ○森ヶ崎公園改良基本設計委託を実施しました。	3
所管部	都市基盤整備部

※「レクリエーション施設の整備」における防災船着場設置工事は、施策 2-1-4「災害時水上輸送ネットワークの向上」と一部一体的に取り組みました。この取り組みに係る決算額については、重複を避けるため「災害時水上輸送ネットワークの向上」のみに計上しています。

6 海辺の散策路整備

海老取川から平和島運河周辺などにかけて、空港臨海部の水とみどりの拠点を結ぶネットワークを形成するため、関係機関と協力しながら、散策路や公共溝渠の整備を進めます。

決 算 額	114,567,366 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【整備手法に関する検討】 ○北前堀の水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する事業手法や都区の役割分担について、引き続き東京都との協議を重ね、事業計画について概ね方向性がまとめられました。	3
【散策路の整備】 ○大森南地区の散策ルート上において、トイレ設置工事（2か所）を発注しましたが、入札不成立等により契約締結・実施に至らず、次年度以降に実施することとなりました。	2
【公共溝渠の整備】 ○貴船堀整備工事（縮切護岸等）の工事が完了しました。 ○南前堀整備工事（縮切護岸等）の暫定工事が完了しました。 ○旧呑川整備工事（縮切護岸等）及び公共溝渠整備（北前堀）の実施設計委託は、東京都の事業計画の遅延により、次年度以降に実施することとしました。	2
所管部	都市基盤整備部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 2	首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります
施策 3	国際都市として交流を育みます

1 18色の国際都市事業の推進

国際都市・多文化共生推進課と18の特別出張所が、地域団体と連携しながら各地域の独自性を活かし、「国際都市おおた」を実感できるような取り組みを行い、外国人と地域住民との交流促進を支援します。

決 算 額	178,777 円
主要施策の成果（平成28年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【地域の特色を活かした国際都市事業実施の支援】</p> <p>○国際都市・多文化共生推進課と18特別出張所の連携により、地域の特色を生かした行事を以下のとおり実施しました。様々な行事を通じて外国人と地域住民が交流することで、文化的背景や考え方の違いを相互に理解し合い、国際都市として外国人を迎え入れる地域づくりを進めることができました。</p> <p>○各出張所が行った取り組みを担当者会等で情報提供したほか、ポスター・チラシの翻訳、国際都市おおた大使への協力要請、国際交流員の派遣、協力者謝礼（外国語講師）、行事材料費の負担等を行いました。</p> <p>＜18地域ごとの事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森東：第6回いつつのわふれあい祭り ・大森西：パネル展「大森西地域の昭和」 ・入新井：入新井盆踊り大会 ・馬込：外国人住民の町会加入促進PR ・池上：第14回池上祭 ・新井宿：みんなで親しむ日本文化～今、話題の“落語”をenjoyしてみよう～ ・嶺町：ぐるっと5町会！みねまちスタンプラリー ・田園調布：第9回田園調布グリーンフェスタ ・鶴の木：高齢者ふれあいフェスタ ・久が原：第27回ふれあい久が原大運動会 ・雪谷：希望のフェス異世代異文化交流会 ・千束：楽しい外国語教室 ・糀谷：国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田への地域ブース出展 ・羽田：第5回ふれあいまつり羽田・萩中 ・六郷：東六郷一丁目町会防災訓練 ・矢口：第6回二十一世紀桜まつり ・蒲田西：おおたハブフレンドシップ ・蒲田東：大蒲田祭 	3
所管部	観光・国際都市部

2 全区的・持続的な国際交流の推進

国際交流事業を全区的・持続的に実施します。そのために、区民主体で柔軟かつ日常的に国際交流イベントなどを開催できる仕組みとして、(仮称)国際交流協会を開設します。

決 算 額	2,869,903 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【運営方法・主体などの検討】 ○大田区の地域国際化の課題とあるべき姿の実現に向けた取り組みの方向性について、区民を交えたワークショップ等を以下のとおり実施し、協会の役割を具体化しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・パネルトーク（1回、参加者 37 人） ・ワークショップ（3回、参加者 73 人） ○協会の開設準備に向け、非常勤職員（国際交流推進員）を 1 人採用しました。	3
所管部	観光・国際都市部

3 「国際都市おおた」の魅力と存在感を国内外に発信

「地域力」の向上が国際都市としての魅力を高め、国内外に大田区の国際都市としての魅力が伝わり、さらに「地域力」が高められるという、相乗効果を生み出すため、ものづくり、良好な住宅街と商業など多様な魅力を持つ大田区の強みを活かし、世界に開かれた大田区の魅力を国内外に発信します。

決 算 額	9,212,562 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【「国際都市おおた宣言」調査・検討・実施】 ○平成 28 年第 4 回大田区議会定例会に宣言文案を上程し、議決されました。 ○平成 29 年 3 月 12 日大田区制 70 周年記念式典にて「国際都市おおた宣言」を行いました。	3
【区民・有識者会議の設置】 ○以下のとおり開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> <第 1 回> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 5 月 30 日 参加者 15 人 ・国際都市おおた宣言文の前提・枠組みの検討、宣言文プロモーション（発信）のターゲット・目的の確認 <第 2 回> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 7 月 27 日 参加者 15 人 ・宣言文案の検討 <第 3 回> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 9 月 21 日 参加者 15 人 ・宣言文タイトル及び宣言文（最終案）の決定 <第 4 回> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 2 月 28 日 参加者 15 人 ・宣言策定までの経緯、多言語化確認、大田区制 70 周年記念式典、宣言セレモニー、宣言後のプロモーション活動について報告 	3
所管部	観光・国際都市部

4 「国際都市おおた大使」事業の実施

大使の特技・強みに合わせ様々な分野にわたって活躍する、「国際都市おおた大使」を新設し、「国際都市おおた」推進の担い手とします。

決 算 額	513,636 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【「国際都市おおた大使」任命】</p> <p>○平成 27 年度から引き続く 5 人と、平成 28 年度新規に公募した 17 人、合わせて 22 人を「国際都市おおた大使」として任命（フィリピン、中国、香港、ベトナム、タイ、アメリカ、ハンガリー、韓国、台湾の 9 か国・地域出身）しました。</p> <p>○大使は、地域のイベントや特区民泊宿泊体験、区が主催する協議会やイベント実行委員会に参加したほか、区の語学研修講師など、各自の得意分野で活動するとともに、その活動内容を区ホームページや SNS 等を活用して情報発信しました。</p> <p>○各大使との交流会を開催（2 回）し、今後の大使の活動内容などについて、意見交換を行いました。</p>	3
所管部	観光・国際都市部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 1	ものづくり産業を育み、世界に発信します

1 工場の立地・操業環境の整備

「大田区企業立地促進基本計画」に基づき、産業支援施設（賃貸工場、産学連携施設など）の管理・運営を行い、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う取り組みに対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めるとともに、区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。中小企業の現状を踏まえた新たな施策を検討するため、製造業の取引実態などを把握する調査を実施します。

決算額	545,868,653 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【産業支援施設指定管理者による運営・支援】 ○指定管理者が産業支援施設使用者に対し、今以上に質の高いサービスを提供するとともに、適正かつ効率的な運営を行い、工業集積の維持発展、地域産業の活性化に寄与するよう、モニタリング調査を実施しました。調査の結果、「きちんと履行している」という評価が 100%となり、目標としていた 95%を上回りました。	3
【ものづくり工場立地助成】 ○新規認定企業数は 11 件、1 年目から 3 年目の交付企業数は 32 件でした。 ○ものづくり企業立地継続補助金の認定及び交付企業件数は 6 件でした。 ○研究開発企業等拠点整備助成事業（ファブレス企業等立地助成）は 1 件でした。	3
【製造業基本調査・新施策の実施 ー新施策の実施ー】 ○区内企業の留置対策として、企業等訪問ヒアリングを実施（201 件）し、拡張・移転意向のある企業に対しては、工場アパートや民間の物件等を紹介しました。 ○区内立地を確実に実現させるため、受け皿となる区内の空き工場・空き事業用地等不動産情報を調査（81 件）しました。併せて、不動産所有者等に対し製造業系用途への活用を促すため、個別面談等を実施しました。	3
【企業誘致の取り組み推進】 ○区外から創業支援施設に 8 件、産学連携支援施設に 2 件、工場アパートに 4 件の入居がありました。	3
所管部	産業経済部

2 新製品・新技術開発の支援

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取り組みを支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

決 算 額	88,336,481 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【助成金交付】 ○新製品・新技術開発のための支援として、約 1 か月半の申請受付期間を設けるなど申請促進を図り、前年度の 28 件を上回る 54 件の申請を受け付けました。このうち 19 件（開発ステップアップ助成：11 件、実用化製品化助成：8 件）の採択を決定しました。	3
【コンクール表彰】 ○産業振興協会のホームページやメール等による広報、チラシの配布を行い、28 件の応募を受け、この中から最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、特別賞 4 件、合計 9 件を表彰しました。 ○受賞製品の特徴や講評を掲載したパンフレットの配布（おおた工業フェア・褒賞出展など）、日刊工業新聞への記事掲載などにより、受賞企業の PR を行いました。また、平成 27 年度受賞企業については、希望する全国規模の展示会への褒賞出展を行い、受賞製品等の PR を行いました。	3
所管部	産業経済部

3 取引拡大の支援

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	68,026,566 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【受発注相談、商談会の実施】</p> <p>○受発注相談窓口において、目標（1,000 件）を上回る 1,065 件の相談を受け、148 件の取引成立に結び付けました。</p> <p>○ものづくり受発注商談会を、以下のとおり開催（2 回）しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月開催 参加企業：発注 86 社、受注 193 社 商談数：738 件、参加者 392 人 ・2 月開催 参加企業数：発注 81 社、受注 190 社 商談数：754 件、参加者 380 人 <p>○商談会による取引成立金額は 22,199,000 円（平成 29 年 7 月 24 日現在）となり、目標（20,000,000 円）を達成しました。</p> <p>○区内中小企業の取引拡大のため、「区内企業データの登録を 250 件追加」という目標の達成に向けて、延べ 1,733 件の訪問を実施しましたが、売り込み等を危惧して登録を躊躇する企業が多かったため、登録数は 39 件に留まりました。</p>	2
<p>【展示会の開催、出展支援】</p> <p>○大田区加工技術展示商談会を実施（出展者数 100 社、来場者数 2,236 人、商談件数 4,094 件、確度の高い商談 118 件、取引成立件数 107 件）しました。</p> <p>○おおた研究開発フェアを実施（出展者数 101 社・団体、来場者数 1,469 人、商談件数 5,601 件、うち可能性の高い商談件数 596 件）しました。</p> <p>○以下の国内展示会に出展（区内企業と共同出展 5 回、協会単独出展 5 回）しました。</p> <p>< 共同出展 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・MEDTEC Japan2016（相談件数 33 件） ・人とくるまのテクノロジー展 2016（相談件数 40 件） ・北洋銀行ものづくりテクノフェア 2016（相談件数 4 件） ・難加工技術展 2016（相談件数 44 件） ・ネプコンジャパン 2017（相談件数 26 件） <p>< 協会単独出展 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 7 回試作市場 2016（相談件数 49 件） ・JPCA Show 2016（相談件数 21 件） ・第 12 回ビジネスフェア（さわやか信金）（相談件数 6 件） ・第 20 回機械要素技術展（相談件数 50 件） ・2016”よい仕事おこし”フェア（相談件数 8 件） <p>○展示会開催後のアンケート調査で、出展企業満足度は 70%となりました。</p>	3
所管部	産業経済部

4 海外市場開拓支援

中小企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、取引拡大につながる海外展開を支援します。特に、医療機器や航空・宇宙等先端分野をリードする欧州への展開に注力することなど、世界中の優れた技術を有する企業との連携・技術交流を強力に進めます。

各企業における海外展開のステップ（基礎知識習得、海外販路開拓、現地法人設立）に応じた支援を行うとともに、諸外国・地域の政府機関、産業関係機関、企業団体との交流を積極的に進め、中小企業に対して海外取引相談、情報提供などの支援を実施します。

決 算 額	15,524,906 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【海外展開支援】</p> <p>○6月に開催されたドイツのロボット・自動機の大規模展示会「AUTOMATICA2016」に、区内企業4社と出展し、大田区ブースにて区内産業をPRしました。</p> <p>○細分化したニーズに応えるべく、海外見本市に単独出展した企業8社（出展先：アメリカ（2件）、オランダ、中国（2件）、タイ、シンガポール、インドネシア）に対して、出展準備の支援と費用の一部を助成しました。</p> <p>・実績 商談件数 967 件 期内の成約件数 6 件</p>	3
<p>【情報提供などの実施】</p> <p>○海外取引相談等の概要は、以下のとおりでした。</p> <p>・実績 海外取引相談件数 平均 52 件／月 海外 e コマース事業参加企業 21 社 国際取引あっせん 6 件</p> <p>○貿易や物流等に関する区内企業の相談内容に対し、協会窓口や企業現場にて対応しました。また、協会内部でソリューションを示せない場合には、外部機関やビジネスサポーター事業につなぐなど、ワンストップ窓口として活動しました。</p> <p>○海外のビジネスパーソンの来訪時に区内企業との商談会（スイス企業、台湾企業）を開催したほか、区内企業とタイ（バンコク）、中国（上海）、台湾（台北）を訪問し、現地企業との商談会を実施しました。</p> <p>○世界最大市場の米国に向けては、商談ツアーを実施（2回、シリコンバレー及び中西部）し、区内企業に商機を提供しました。</p>	3
所管部	産業経済部

5 新市場開拓支援(航空・宇宙、医療・福祉、新エネルギー、環境関連分野など)

大学や病院、研究機関などと中小企業との連携による新市場開拓を支援します。研究機関や先進企業から講師を招き、新技術・新素材に関する講義や技術指導を行うことで、新製品開発への足掛かりをつくとともに、企業間や研究機関などとの共同開発事業に対しては、経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

決 算 額	16,264,013 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗 状況
<p>【セミナー・講演会などの開催】</p> <p>○次世代産業を中心としたセミナーや東京工業大学との連携によるセミナー及び講演会などを、以下のとおり実施（38 回）し、計 572 人（区内外含む）に対して新分野・新市場開拓進出に向けた機会の創出を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京工業大学技術交流セミナー：4 回 ・東京工業大学技術研究会：2 回 ・切削・研削研究会：11 回 ・マイクロテクスチャ研究会：11 回 ・新素材加工技術研究会：3 回 ・新エネルギー・ロボットセミナー：2 回 ・医工連携に関するセミナー：4 回 ・研究開発セミナー：1 回 <p>○区内企業の共同研究・部材供給・新製品開発の取り組みに対し、新たな市場開拓先として次世代の産業分野に対応していくための支援を行い、以下の目標を達成しました。</p> <p><区内企業の新製品売上金額> 896,470 千円（目標：35,000 千円）</p> <p><企業誘致> デザイン系 1 社、ロボット開発系 1 社、IT 系 1 社、医工系 2 社、 大学発ベンチャー 1 社、研究組合 1 組合 （目標：産学・医工系企業 1 社、大学発ベンチャー 1 社）</p>	3
所管部	産業経済部

6 ものづくり人材の育成

ものづくりへの興味・関心を高めるには、若い世代からの取り組みが重要です。小中学生を対象とした、ものづくり実践教室や産業のまちスクールなどの、ものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。

決 算 額	19,734,472 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【講座・セミナーなどの開催】</p> <p>○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり成果に結びつく講座やセミナーを開催しました。参加者アンケートでは、評価項目の「満足」、「ほぼ満足」の割合が93%（目標80%）となりました。</p> <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術指導講習会（7回、参加者108人） ・次世代経営者育成セミナー（2回、参加者27人） ・新入社員セミナー（1回、参加者43人） ・工業団体実地研修会（11回、日帰り：3団体80人、宿泊：3団体98人） ・産業団体経営革新支援事業（工業系）講習会（16回、参加者432人） ・産業のまちスクール（2回、参加者100人） ・ものづくり実践教室Ⅰ（1回、参加者200人） ・ものづくり実践教室Ⅱ（1回、参加者40人） 	3
<p>【講習会などへの助成】</p> <p>○（一社）大田工業連合会への委託事業として、工業団体が企画した研修会・講習会などへ助成（41回）しました。</p>	3
所管部	産業経済部

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 2

くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

1 商店街景観整備事業

商店街関係者のほかに地域住民、コンサルタントなどで協議会を組織し、地域における商店街の役割の見直しを検討します。まちづくりの一環として地域特性を活かした商店街の景観整備を行い、来街者の周遊、回遊を促す基盤をつくります。

決算額	9,719,000 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【候補地 協議会設立、実施計画検討】</p> <p>○池上本門寺通り商店街へ建築コンサルタントを派遣（32 回）しました。建築コンサルタントを交えて商店会の調整を行うなどの支援を行い、景観整備の工事が竣工しました。</p> <p>○景観整備の 1 期工事が終了したミハラ地区 4 商店街に補助を行い、2 期工事の可能性調査に関する実態調査事業を実施しました。</p>	3
<p>【他の候補地の検討及び選定、計画策定】</p> <p>○ミハラ地区、池上地区に続く景観整備候補地選定の準備として、商店街景観整備計画策定（調査）事業を実施しました。区内 8 商店街を候補地としてヒアリング調査を行い、以下のとおり、短期的に着手可能な商店街と、中期的に取り組む商店街とを分類しました。</p> <p>＜先行実施商店街（4 商店街）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗足池商店街振興組合 ・田園調布商店街振興組合 ・梅屋敷梅交会協同組合 ・蒲田東口商店街商業協同組合（さかさ川通り） <p>＜計画検討商店街（4 商店街）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいで通り糀谷商店街 ・糀谷商店街振興組合 ・羽田商店街振興組合 ・穴守ふれあい通りサンサン会 	3
所管部	産業経済部

2 ふれあい商店街事業

商店街会館や空き店舗などを活用して、商店街内に新たなコミュニティ空間となる、お休み処・トイレなどを整備します。

提供する商店街に費用の一部を助成することにより、円滑な運営に加え、地域コミュニティや商店街活性化も含めた活用を支援します。

決 算 額	4,565,000 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【実施商店街】 ○お休み処を新規開設する商店街の開設を支援し、2 商店街で工事が竣工しました。 ○お休み処事業の根本的な見直しを図り、平成 29 年度からの新たな方針を策定しました。	3
所管部	産業経済部

3 商店街イベント・機能向上の支援

商店街が単独で行うイベント事業や複数の商店街が合同で行う広域事業、商店街の機能を向上するための事業に対し、経費の一部を助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街の機能を充実させます。

決 算 額	207,332,045 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【商店街への助成事業実施】 ○平成 28 年度の助成金交付確定件数は次のとおりでした。 ・大田区新・元気を出せ！商店街事業：130 件 ・商店街活性化テーマ別選択事業：31 件 ○商店街に対して複数設けていた補助事業を、大田区補助金適正化方針に基づき廃止・統合し、補助率・補助限度額を統一しました。	3
所管部	産業経済部

4 おおた商い観光展の開催

区内の商店・企業・団体を中心に、「商い・観光・匠」といった大田区の魅力を多くの来場者に紹介する展示会として開催します。区内の観光情報の発信や逸品認定を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信します。

決 算 額	15,184,422 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【おおた商い観光展の開催】 ○出展者数 148、来場者数 11,202 人となり、いずれも前年度（出展者数 121、来場者数 10,856 人）を上回る実績となりました。 ○初出展者を対象にした販売戦略策定セミナーを開催（3回、13 団体・店）しました。 ○出展者を対象とした出展者セミナーを開催（1回、テーマ：外国人観光客対応術、参加者 21 人）しました。	3
所管部	観光・国際都市部、産業経済部

5 空き店舗を活用した活性化支援

商店街の空き店舗の実態を把握し、空き情報を広く発信するとともに、空き店舗を活用した取り組みを支援します。

決 算 額	231,178 円	
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）		進捗状況
【空き店舗の把握・PR 及び支援策の検討】 ○産業振興協会のホームページで空き店舗情報を提供し、問い合わせが 6 件ありました。 ○「大田区個店・空き店舗視察&勉強会」を開催（参加者 18 人、満足度 94%）しました。当日は、中小企業診断士の高田泰弘氏を講師に迎え、区内繁盛店の見学、空き店舗の見学及びグループワークによる勉強会を実施しました。		3
【空き店舗を活用した創業支援の実施】 ○モデル商店街事業において、武蔵新田商店会による商店街空き店舗スペースを活用した介護相談事業を採択しました。		3
所管部	産業経済部	

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 3	ビジネスがしやすいまち大田区をつくります

1 創業支援

新たに区内で立地を希望する創業者への支援にハード・ソフト両面から取り組みます。創業支援施設の活用をはじめ、窓口相談、優秀な創業者を発掘するコンテストの開催などにより、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくります。

決算額	16,767,057 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【創業支援施設入居者の立地促進】 ○創業支援施設の 1 年間の平均使用率は 88.8%（オフィス 92.5%、シェアードオフィス 77.7%）となり、目標としていた 8 割を上回りました。	3
【創業者支援相談の実施】 ○相談件数は 628 件（月平均 52.3 件）となり、目標としていた月 20 件以上を上回りました。	3
【ビジネスプランコンテストの開催】 ○区への波及効果を高めるため、対象ビジネスプランの要件として、「将来、大田区での事業展開を計画している」ことを加えました。 ○分野テーマに特区民泊を設け、特区民泊連携モデル賞最優秀賞及び優秀賞を特設しました。 ○一般部門 42 件、特区民泊部門 15 件、合計 57 件の応募がありました。全体の表彰件数は 11 件となり、目標としていた 9 件を上回りました。 ○受賞プランを掲載したパンフレット及び受賞者がプレゼンテーションを行う表彰式のチラシを制作し、協賛先等関係先に配布することで受賞者の PR につなげました。表彰式実施後は、産業振興協会のホームページに受賞者の動画を掲載し、さらに受賞者の周知を図りました。	3
所管部	産業経済部

2 ネットワーク形成支援

中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。ネットワーク形成を促すため、セミナーや講演会などを開催します。

決算額	3,534,000 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【新事業活動助成金の交付】 ○中小企業グループのみであった本事業の対象に個別（単独）企業も含める、申請受付期間を延ばす、積極的な広報活動を実施するなど、申請者数の増加に努めました。 ○対象要件の緩和（単独申請も対象）や申請期間の延長、広報活動の充実を図ることで、21 件の申請を受け、うち 10 件を採択しました。 ○助成金を交付した医療機器製造企業に対して、積極的な事業化の実現、新たな企業間ネットワークの構築が図れるよう、文京区の医療機器製販企業との連携を支援しました。 ○介護製品を製造した企業については、メディアを使用するプロモーション企業へつなげることで、介護業界への売り込みを開始しました。	3
所管部	産業経済部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 4	大田区の観光を世界に発信します

1 訪日外国人等受入環境整備

増加が見込まれる来訪者を、区内への誘客及び回遊につなげ、大田区ならではの「おもてなし」を提供できるように、来訪者受入環境の整備を進めます。

決 算 額	70,351,116 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【ウェルカムショップ制度の推進】【まちかど観光案内所制度の推進】</p> <p>○「外国人受け入れに係る実態調査」の結果を受け、ウェルカムショップ向けサービスの整理・再定義を行い、登録店舗全店へ周知しました。また、多言語対応等について、大田区観光情報センターとの連携強化を図りました。</p> <p>○同実態調査の結果を踏まえ、外国人対応マニュアルとして「外国人旅行者等おもてなしハンドブック」を作成し、活用に関する理解を深めるためのセミナーを実施しました。</p> <p>○制度の情報発信強化として、支援サービスの案内と同時に、大田区公式観光サイトへの掲載協力依頼を行い、20 件の新規掲載に結び付けました。</p>	3
<p>【外国人等「おもてなし」事業化】</p> <p>○大田区公式観光サイト（日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語・タイ語）は、平成 28 年度において約 62 件のコンテンツの掲載を完了し、累計 230,000 件程度のアクセスがありました。</p> <p>○大田区観光情報センターにおいて、おおたの魅力発信をテーマとした様々なイベントを、毎月実施しました。また、区内外で開催されるイベント等への出展・資料提供を計 39 件実施しました。</p> <p>○羽田空港国際線ターミナル大田区観光情報コーナーにおいて、10 月から毎週木曜日、大田区観光情報センタースタッフによるセンターの PR 活動を実施しました。</p> <p>○大田区観光情報センター・ウェルカムショップ・まちかど観光案内所が連携し、大田区観光情報センターにおいて、おもてなし外国語講座の実施及び外国語対応ヘルプデスクの設置を行いました。</p>	3
<p>【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】</p> <p>○観光調査員が定期的に区内のホテルを訪問し、情報収集を行うとともに、国、東京観光財団等からの情報を伝達しました。</p> <p>○大田区観光情報センターの平成 28 年度利用者実績等は、以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：49,590 人（日本人：47,874 人、外国人：1,716 人） ・体験利用者数：603 人（日本人：220 人、外国人：383 人） ・観光案内件数：3,354 件（日本人：2,423 件、外国人：931 件） 	3

<p>【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】</p> <p>○大田区観光情報センターの平成 28 年度利用者実績等は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：49,590 人（日本人：47,874 人、外国人：1,716 人） ・体験利用者数：603 人（日本人：220 人、外国人：383 人） ・観光案内件数：3,354 件（日本人：2,423 件、外国人：931 件） <p>○区の他事業や民間事業者と連携・協力し、大田区観光情報センターでのイベント実施やイベント出展協力など、大田区観光情報センターから地域の回遊へ繋げる取り組みを実施（13 件）しました。</p> <p>○区内文化団体等と連携し、地域の魅力を発信するイベントを実施（11 件）しました。</p>	3
<p>所管部 観光・国際都市部</p>	

※取組事項【ウェルカムショップ制度の推進】と【まちかど観光案内所制度の推進】、【国内外の来訪者の宿泊や活動、交流を支援する「おもてなし」の場の創出】と【MICE と連携した外国人等受入環境整備の検討（総合案内機能の整備など）】は一体的に取り組んだため、主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）については同様の記載となります。

2 大田区の産業を活かした観光事業の推進

世界に誇る大田区のものづくりを新たな観光資源として位置づけ、食・グルメや商店街、銭湯、文化などと組み合わせることにより、「オール大田」の産業の魅力の有機的に創出します。

決 算 額	16,781,751 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【食や銭湯など大田区の産業を活かした周遊・回遊・イベントの実施】</p> <p>○大田区観光推進連絡協議会に 3 つの専門部会（空港連携部会、観光回遊促進部会、水辺活性化部会）を組織し、水辺空間の活用、回遊性を高める取り組み等、各専門性に拠る議論により、「HANEDA⇄OTA エンジョイプログラム戦略」を方向付けました（専門部会 4 回開催）。</p> <p>○同方向付けのもと、同協議会において、区内での滞在や回遊を促すにあたり、銭湯、商店街、食等をテーマにモデルコースを提案する「HANEDA⇄OTA エンジョイプログラム」を制作（日本語 12,000 部、英語 10,000 部、中国語（簡体字）10,000 部）しました。</p>	3
<p>【産業を活かした観光拠点の推進】</p> <p>○くりらぼ多摩川の利用促進及び認知度向上のため、各種イベント、ワークショップを以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町工 BAR（3 回、延べ参加者 64 人） ・くりらぼワークショップ（9 回、延べ参加者 108 人） <p>○「くりらぼ多摩川」は、オープン DAY を毎週火曜と木曜に拡充したこと等により、1,615 人にご利用いただきました。</p> <p>○オープンファクトリーは、参加エリアへの羽田 BIC あさひの追加、対象エリアのクリエイターとの連携企画の同時期開催などにより、面的な充実を図りました。また、テクノフロントから新規参加を促すこと等で、工場オープン数が過去最多（27 年度 45 社、28 年度 53 社）となるなど、魅力溢れる内容になりました。</p>	3
<p>【産業観光に関わる受け入れ整備の推進】</p> <p>○産業観光受入整備補助金を交付（申請 6 件、実施 6 件）しました。</p> <p>○補助金制度について、産業振興協会のホームページでの情報発信や、オープンファクトリー参加企業への情報提供を行いました。</p>	3
<p>所管部 観光・国際都市部、産業経済部</p>	

3 地域・事業者と連携したにぎわい創出

羽田空港・鉄道などの事業者や、団体・NPO、他自治体との連携を推進することにより、来訪者にきめ細やかな「おもてなし」を提供するとともに、「にぎわい」を創出します。

決 算 額	37,198,203 円	
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）		進捗状況
<p>【自治体間広域連携の推進（川崎市、品川区など）】</p> <p>○川崎市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多摩川」をテーマに、「おたかわマルシェ&ウォーク」を実施（来場者約 1,650 人）し、模擬店の出店や両地域の名品の販売を行いました。 ・「旧東海道」をテーマに、「江戸人を探せ！旧東海道まちかどウォーキング」を実施（参加者 125 人）し、区内商店街や大田区観光情報センター等を巡るコースを設定するなど、回遊の促進を図りました。 ・「おたかわ旧東海道フォトコンテスト」を Facebook 上で実施（応募数 94 点、応募者 34 人、閲覧数 1,039 件）しました。両地域の旧東海道にまつわる応募作品の投稿を募り、Facebook 上に投稿された作品を多くの人に見てもらうことで、旧東海道の魅力発信を行いました。 ・平成 27 年度に引き続き「黒湯サイダー」の製造・販売を行いました。大田区では大田区観光情報センター、浴場、商店街、イベント等で販売（販売本数 5,637 本）しました。 <p>○品川区との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品川・大田地域観光まちづくり推進協議会への支援を通じ、「TOKYO シーカヤックツーリング」を実施（参加者 20 人）しました。 ・両地域共通の資源である「旧東海道」をテーマに、「江戸の旅人を体感！旧東海道 川崎宿～品川宿ウォーク」を実施（参加者 53 人）しました。 ・「親子釣り大会」を実施（参加者 62 人）し、両地域の新たな水辺の楽しみ方を体感していただきました。 		3
<p>【観光まちづくり団体などへの支援】</p> <p>○（一社）大田観光協会が実施する「大田の魅力再発見ツアー（おおたの桜めぐりウォークなど）」、「蒲田映画祭」、「商い観光展」への出展、水辺の賑わい事業（シーカヤックツーリング等）など、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。</p> <p>○（一社）大田観光協会の事業を支援することで、同協会が実施する区民団体等への支援につなげました。</p> <p>○観光まちづくりを進める団体に対し、団体が実施するイベントの告知やパンフレットの配布等の支援を行いました。</p>		3

<p>【観光推進連絡協議会の推進】</p> <p>○事業の方向性や内容の検討を行うため、3つの専門部会（空港連携部会、観光回遊促進部会、水辺活性化部会）を組織し、全体会議と合わせ、2階層による体制を整えました。</p> <p>○専門部会では、「HANEDA⇔OTA エンジョイプログラム戦略」に基づく冊子等（「HANEDA⇔OTA エンジョイプログラム」）の制作について、具体的な検討を行いました。</p> <p>○全体会議で専門部会の議論を承認し、各会議体の役割分担による効率的・効果的な運営が実現しました。</p> <p>○庁内の情報共有、連携の可能性を検討するため、庁内連絡会議を組織しました。</p> <p>○情報共有会を開催し、会員間の連携を深めました。</p> <p>○水辺のにぎわい体験クルーズ、コミュニティサイクルに関する講演を開催しました。参加意識の醸成及び区事業に関する理解を深めることで、円滑な協議会運営に結び付けました。</p> <p>○会員間の連携のもと、「HANEDA⇔OTA エンジョイプログラム」を企画・制作し、羽田空港からの近接性など、大田区の強みを区内外にPRしました。</p> <p>＜内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子の作成・配布 ・SNSを活用したプロモーション等 <p>＜部数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・32,000部（日本語12,000部、英語10,000部、中国語（簡体字）10,000部） <p>＜主な配布箇所＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港内、区施設、区内浴場、区内外宿泊施設等 	3
<p>【大田区の観光をサポートする人たちと連携したにぎわい創出事業】</p> <p>○株式会社ぐるなびとの連携協定に基づき、「ぐるたび」の大田区特設ページの運営を継続して行いました。</p> <p>○大田区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等の各界で活躍、活動されている、発信力と訴求力の高い16人の方に、新たに大田区観光PR特使を委嘱しました。</p>	3
所管部	観光・国際都市部

4 シティセールス・MICE の推進

メディアなどを活用して情報発信を行い、大田区の認知度を向上させます。関係機関と MICE 推進体制を構築するとともに、MICE 見本市に出展するなど、区内のコンベンション施設などを PR します。

決 算 額	4,592,400 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
<p>【来～る大田区大使による観光 PR】</p> <p>○イベント実行委員会や観光関連イベント、国際交流関連イベントへの参加や、海外からの来訪者の対応等、幅広い活動を実施（42 件）しました。また、大使有志による Facebook の”いいね数”は 803 件になりました。</p> <p>○大田区観光紹介用パンフレットと大田区観光 PR 動画の制作にあたって打ち合わせを行い、その上でパンフレットの翻訳やモデルコースの確認、プロポーザルへの参加、PR 動画への出演を行いました。また、おおたの観光をテーマとした区長との懇談会にも参加し、これらの機会を通じて、おおたの観光の理解度を深めました。</p>	3
<p>【メディアなどを活用した情報発信】</p> <p>○Facebook「Visit Ota City」に 121 件の投稿を行い、区内の魅力的なスポットやイベント等についての情報を発信しました。</p> <p>○ページいいね！数は 6,406 件となり、1,969 件増加しました。</p> <p>○平成 28 年度の年間通算リーチ数（閲覧数）は、1,016,506 件となりました。</p> <p>○欧米市場、アジア市場のそれぞれの嗜好に合わせた観光 PR 動画を 4 種類制作し、リーチ数合計 660,254 件、動画再生数合計 157,294 件、いいね！数合計 13,805 件を獲得しました。</p>	3
<p>【MICE 推進体制の構築】</p> <p>○MICE 連絡会として、（公財）大田区産業振興協会、文化振興課、スポーツ推進課関係者との打ち合わせを概ね 1～2 月に 1 回の頻度で開催し、各取り組みに係る連携及び情報収集の促進を図りました。</p> <p>○大田区の状況に合った大田区版 MICE の考え方を整理し、MICE 連絡会等で共有しました。</p> <p>○MICE 連絡会での大田区版 MICE の情報共有、「国際ミーティングエキスポ（IME）2016」における講演プログラムへの参加等により、MICE 連絡会メンバーの MICE に対する理解及び共通意識醸成を行いました。</p>	3
<p>【MICE 見本市の出展】</p> <p>○「国際ミーティングエキスポ（IME）2016」に出展しました。出展した 2 日間で 1,286 人が来場し、コンベンション主催者との商談等を 19 件行いました。</p> <p>○MICE 連絡会関係者と連携し出展することで、配置の適正化、連携意識のさらなる共有、ブース対応の効率化等を図りました。</p>	3
所管部	観光・国際都市部

5 インバウンド誘致の推進

外国人旅行者を大田区に呼び込むため、事業者や他自治体などと連携して、海外の旅行博覧会での情報発信や、海外旅行会社の招請、メディアを活用した海外における情報発信などを行います。

決 算 額	1,884,411 円
主要施策の成果（平成 28 年度の取り組み内容）	進捗状況
【海外の旅行会社・メディアなどに対する情報発信】 ○タイ国際旅行博の商談会において、現地旅行会社 4 社と商談を行いました。 ○プロモーションツール（パンフレット）を制作し、タイ旅行会社（9 社）、台湾旅行会社（13 社）へ配布を依頼（計 9,000 部）しました。	3
【海外の旅行博での情報発信】 ○現地旅行者に継続的に情報発信できる Facebook「Visit Ota City」を活用し、タイでは 442 件、台湾では 324 件の「いいね！」を獲得しました。	3
【観光まちづくり団体などとのインバウンド推進体制の構築】 ○（一社）大田観光協会による観光ガイド育成事業において、外国語ボランティア養成講座修了者へのフォローアップ研修実施（17 回）を支援・補助しました。	3
所管部	観光・国際都市部